

NEC キャピタルソリューション株式会社
2024 年 8 月

わくわく子どもの池プロジェクト活動報告 青梅市立霞台小学校（2023 年 10 月造成）

霞台小学校の校庭の理科園にはビオトープがあり、当初はそのビオトープ改修を予定していました。しかし、学習を進めていくとそこは東京都の絶滅危惧種ハラビロトンボの生息地であることがわかりました。改修してトンボの棲みかを変えてしまうか、新たに校舎の近くに池を造成するか、子どもたちはどう決めたのでしょうか。

1 回目授業（2023 年 6 月 13 日座学）

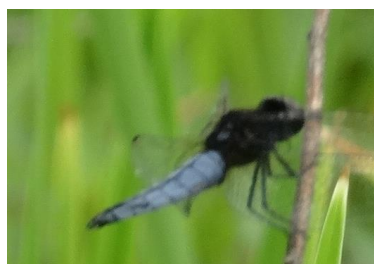
4 年生 2 クラスを対象に、オンラインでの授業で、生きものの体、暮らし、すみかなど「生きものとおはなしする方法」を学びます。教室では先生のタブレットの Zoom 画面をモニターに投影して授業を受けます。



2 回目授業（2023 年 6 月 27 日座学）

子どもたちは学校の理科園で確認できた生きものの特徴や、捕まえた生きものを画面越しに投影して観察したことを説明します。

霞台小学校の理科園はバッタ、チョウチョ、トンボ等たくさんの生きもののすみかとなっていることがわかりました。特に、理科園の既存のビオトープは、東京都の絶滅危惧種ハラビロトンボ*の生息地となっていることが判明しました。



*ハラビロトンボ:一般的なトンボより小さい体長 32～42mm。黄色の地に黒色条斑があり腹部は扁平で幅広い。

3 回目授業 （2023 年 7 月 4 日座学）

池の設計図の発表です。どんな生きものにきてほしいのか発表します。造成する場所について、ハラビロトンボがすむ理科園内にするか、それとも別の場所にするか飯島先生と相談します。この日は決めることができませんでした。



4 回目授業 実行委員会との打ち合わせ（2023 年 9 月 8 日座学）

池の造成にあたっての条件や、造成に必要な材料の準備について最終確認の打ち合わせを行いました。理科園ではなく、校舎近くに新たに池を造成することで進めることとなりました。また、理科園には花の種を植えるなどの整備に留めることとしました。



5 回目授業（2023 年 10 月 26 日造成）

秋晴れの日造成です。校舎横に新たに穴をほり、生きものが住みやすいよう工夫をしながら池を造成しました。理科園は草抜きをして花の種を植えました。



新たに造った池にはどんな生きものが来てくれるのか、楽しみです。